

遮熱透湿防水シート ABSS[®]

施工要領

本施工要領の位置づけ

本書では最も適切と考えられる施工方法を掲載しておりますが、漏水保証を行うものではないことをご了承ください。

1.保管状態の留意

- 梱包材に入れたまま、高温、水漏れ、直射日光にさらされない場所に保管してください。
- 使用した残りのシートは、必ず梱包材に入れて保管してください。
- 火気および高熱によって溶けたり燃えたりすることがありますので、火気や高熱物を近づけないでください。

2.施工前の注意

- 施工現場にて梱包材から取り出してください。
- 一部の防蟻・防腐処理された通気胴縁には、降雨水が掛かると薬剤成分が流れ出すものがあり、透湿防水シートの防水性能を低下させる恐れがありますので、ご注意ください。
- 防蟻・防腐処理された通気胴縁を使用する際には、胴縁施工後、降雨水が掛からないように適時養生し、速やかに外壁材の施工を完了してください。
- 外壁施工前にかなりの降雨が予想される場合には、必要に応じ、養生シートなどで覆うなどの雨水対策を行ってください。
特に開口部については、雨水侵入の恐れがありますので、必ず養生シートで覆うなど雨水対策を施してください。
- モルタル直塗り工法の下地としては使用できませんので、ご注意ください。

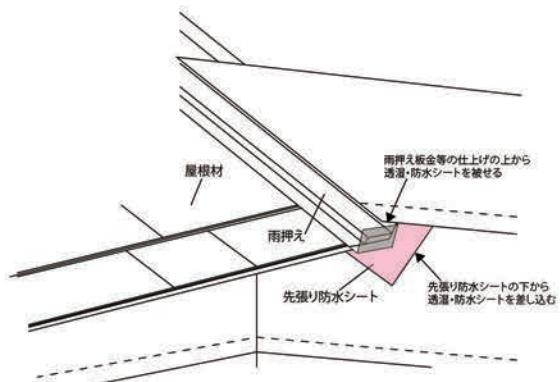
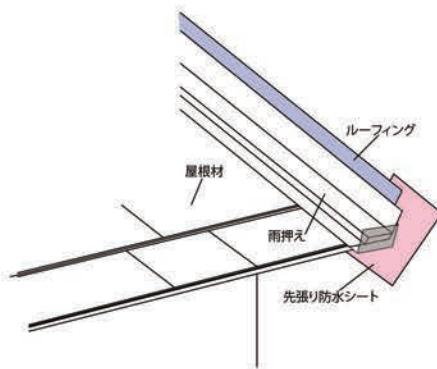
3.施工時の注意(作業上の注意)

- シートにキズ、破れなどが無いか確認をしてください。破れを補修する際は防水テープを使用してください。
- 施工の際は工具として、メジャー、カッターナイフ、ガンタッカー等をご使用ください。
- タッカーで止める際は、シートを破らないように真っすぐに打ち込んでください。また、タッカーの頭を浮かさないように打ち込んでください。
- シートはたるまないように引っ張ってとめてください。
- 外壁材とシートの間には必ず通気層を設けてください。
- 横張りとし、下から上に張り上げてください。
- サッシ廻りの施工の際は、透湿防水シートとの密着に優れた防水テープをご使用ください。

4.その他留意事項

- サイディングの施工は、シート取り付け後、速やかに行ってください。
(JIS A 6111 では 60 日以内の施工を前提としております。)
- 外装材に窯業系サイディングを用いる場合は、日本窯業外装材協会 (NYG) の標準施工マニュアルもご確認ください。
- 外装材に金属系サイディングを用いる場合は、日本金属サイディング工業会の標準施工マニュアルもご確認ください。
- 小屋裏にはご使用頂けますが保証対象外となります。また、屋根材の下地にはご使用頂けませんので、ご注意ください。
- 現場発泡断熱材を直接、透湿防水シートに吹き付ける場合は下記を必ずご確認ください。
 - ・発泡断熱材製造者の施工マニュアルに記載された事項に従って施工してください。
 - ・通気層を阻害されないように、シートはたるまないように施工してください。
 - ・発泡断熱材はJIS A 9526 A種3 適合品(100倍発泡)をご使用ください。
 - ・通常使用と発泡断熱材吹き付けの場合では保証期間が異なるため、詳しくは担当営業にお問い合わせください。

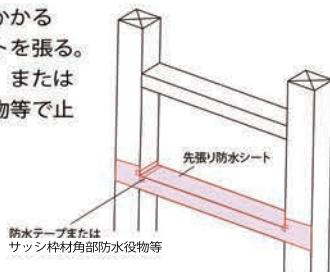
屋根と外壁の取り合い部の施工例



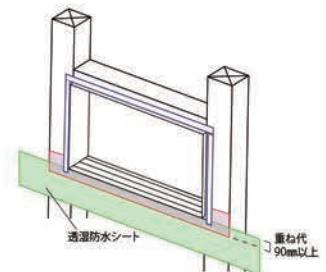
- ①雨押え板金の仕上げの上に透湿防水シートが被さるように施工する。
- ②先張り防水シートの下から透湿防水シートを差し込むように施工する。

開口部の施工例

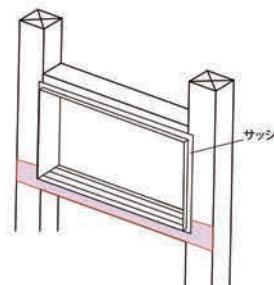
①開口部の両側の柱にかかるように先張り防水シートを張る。入隅部は、防水テープ、またはサッシ枠材角部防水役物等で止水する。



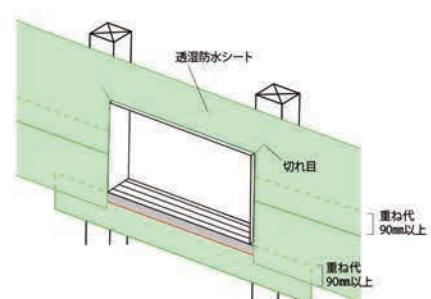
④先張り防水シートの下に透湿防水シートを差し込むように貼る。先張り防水シートと透湿防水シートの重ね代は、90mm以上とする。



②サッシを取り付ける。

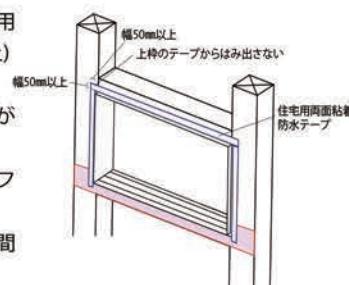


⑤サッシ縦枠、上枠に沿って透湿防水シートを貼る。サッシに沿って透湿防水シートを切り取り、上枠両端を斜めに切れ目を入れる。



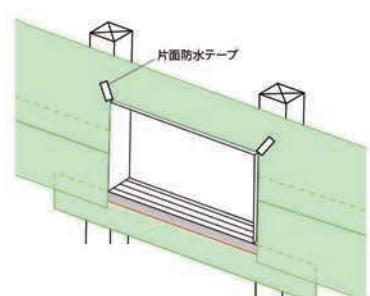
③サッシ縦枠、上枠の順に住宅用両面粘着防水テープ(幅50mm以上)を三辺に貼る。

上枠のテープから縦枠のテープがはみ出さないように注意する。防水テープはサッシくぎ打ちのフィンの根本を十分おおう。縦・横の防水テープ交差部に隙間が生じないように貼る。

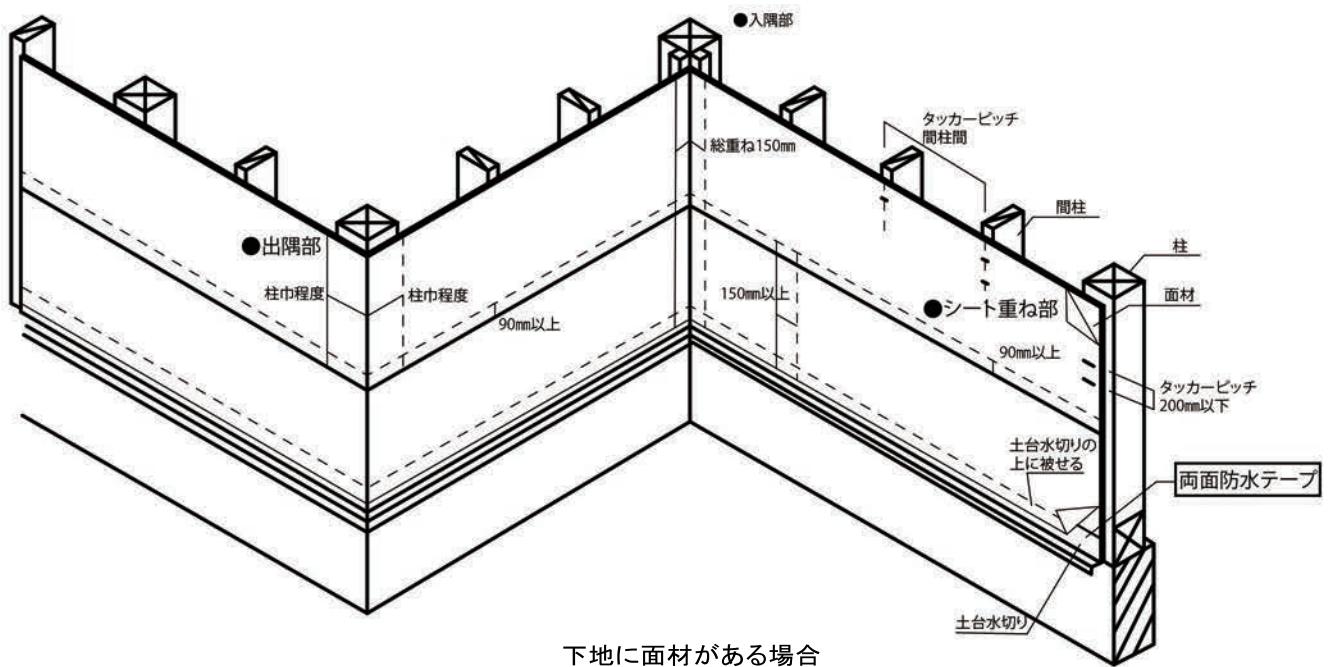
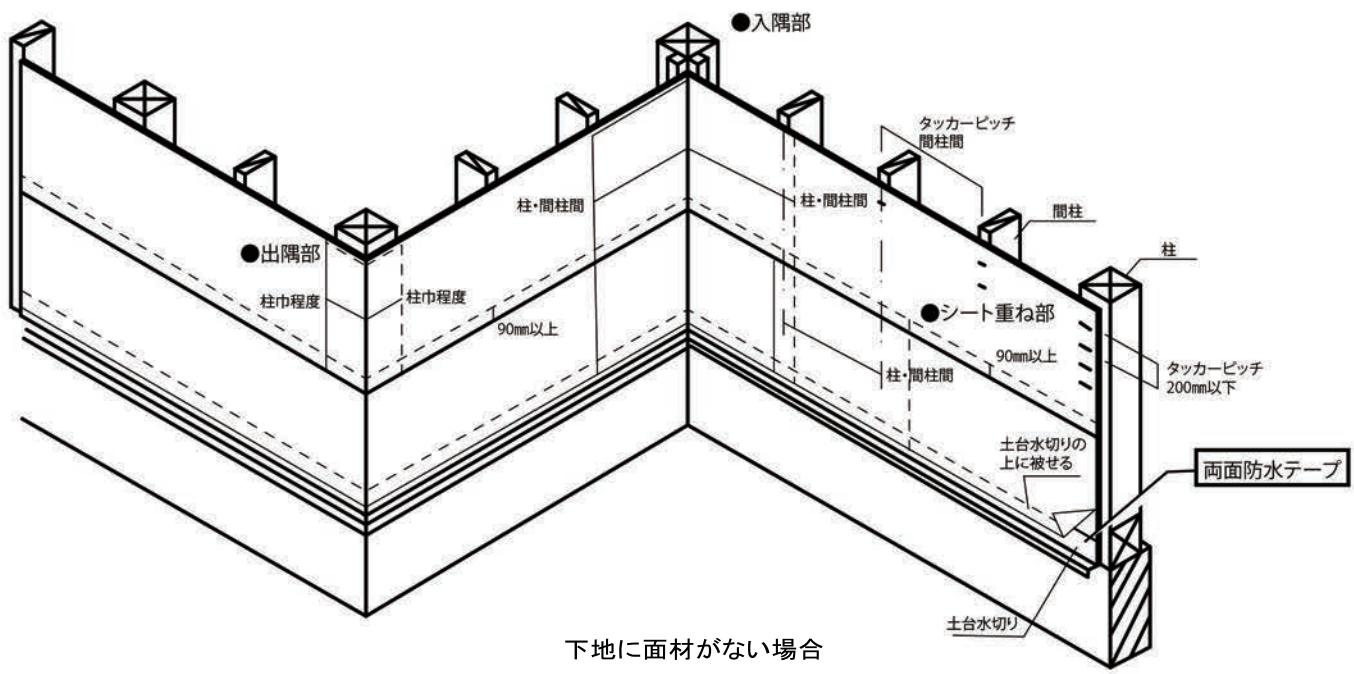


⑥切り込みを入れた部分のシートをめくり、両面粘着防水テープをローラーでしっかりと圧着する。

サッシ上枠両側の切れ目を片面防水テープで覆うように貼る。



一般部の施工例



●本製品に関するお問い合わせ先 072-679-1150(商品開発部)

製造元 株式会社 オズ・ワーク

本社・大阪営業所

〒569-0857 大阪府高槻市玉川3丁目22-1
TEL072-679-1136 FAX072-679-1086

関東営業所

〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港92
TEL043-445-8188 FAX043-445-8189

ウェブサイト

<https://www.ozwork.co.jp/>